

2026年2月27日

エネックス株式会社に対する 「むさしのポジティブ・インパクト・ファイナンス」の取扱いについて

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、2026年2月27日（金）、エネックス株式会社（代表取締役 榎本 弘容、東京都東村山市）に対し、「むさしのポジティブ・インパクト・ファイナンス」の取扱いを行いましたので、お知らせします。

「むさしのポジティブ・インパクト・ファイナンス」では、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が策定した「ポジティブ・インパクト金融原則」に基づき、お客さまの事業活動が経済・環境・社会に与える影響を総合的に評価（インパクト評価）し、プラスの影響（ポジティブインパクト）の最大化およびマイナスの影響（ネガティブインパクト）の軽減を目指す目標を設定します。当行ではあわせて、取組状況のモニタリングや各種コンサルティングサービス提供など目標達成に向けた伴走支援を通じ、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

エネックス株式会社は、東村山市を拠点に東京都多摩地区および埼玉県東松山市にて、プロパンガスの販売・関連設備の設計施工、オートガススタンドやガソリンスタンドの運営など、地域の方々の暮らしを長年に亘り支えているエネルギーインフラ事業者です。

近年はエネルギーの地産地消を目指し自社で太陽光発電事業を営むとともに、非化石証書を組み合わせた電力小売りにも取組み、企業・自治体・個人の方々に環境価値を提供しています。

また、ガス・電気の販売事業に関連した高齢者見守り事業の展開を計画しているほか、ウェルビーイング向上に向けた働きがいある職場づくりに取組むなど、サステナビリティの視点を採り入れた経営に努めております。

今般のポジティブ・インパクト・ファイナンスでは、同社の社会課題解決の取組みを一層加速するべく、インパクト評価に基づき、「分散型エネルギーの導入／再エネメニューの普及」「高齢者の見守りサービスを活用した地域社会への貢献」「仕事と暮らしの調和がとれた働きやすい職場環境の整備」の3テーマのもと目標を設定し、その達成を目指していきます。

1. 企業概要

企 業 名	エネックス株式会社
代 表 者	代表取締役 榎本 弘容
所 在 地	東京都東村山市本町2-19-4
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">・ プロパンガスの販売・保安業務・ 給湯設備、冷暖房設備の設計施工・ 灯油、重油の販売、その他生活関連用品の販売・ 自動車用燃料（プロパンガス・ガソリン）スタンド運営・ 電力販売（低圧電力・高圧電力）・ 都市ガスの販売・保安業務

次ページへ



2. ポジティブ・インパクト・ファイナンスの概要

(1) 契約内容等

契約締結日	2026年2月27日(金)
融資金額	100百万円
融資期間	5年
資金使途	運転資金
インパクト評価	株式会社 ぶぎん地域経済研究所
第三者評価機関	株式会社 格付投資情報センター (R&I)

(2) 特定したインパクトと測定するKPI

	テーマ	目標/KPI	関連するSDGs
環境面	分散型エネルギーの導入	<ul style="list-style-type: none"> 2030年5月期までに小売り電力における太陽光パネル、蓄電池の出力数を3,200Kwとする。 	  
	再エネメニューの普及	<ul style="list-style-type: none"> 2030年5月期までに再エネメニュー「スローエナジープラン」の契約数を500件とする。 	
社会面	高齢者の見守りサービスによる地域社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 2030年5月期までにガス・電気の使用データを活用した「見守りサービス契約件数」を500件とする。 2030年5月期までにガス点検時における「健康・断熱チェック」の実施件数を累計8,000件とする。 	
	仕事と暮らしの調和がとれた働きやすい職場環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 2030年5月期までに有給休暇平均取得日数を15日以上とする。 育児休暇取得率100%を維持する。 毎年5.0%の賃上げを実施する。 	

PIF 評価書・セカンドオピニオンは以下 URL を参照ください。

https://www.musashinobank.co.jp/corporate/pif/pdf/achievements_260227_01.pdf

以上

報道機関からのお問い合わせ先
 法人コンサルティング部 崎谷 健史・原 祐太
 TEL (048) 641 - 6111 (代)